

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



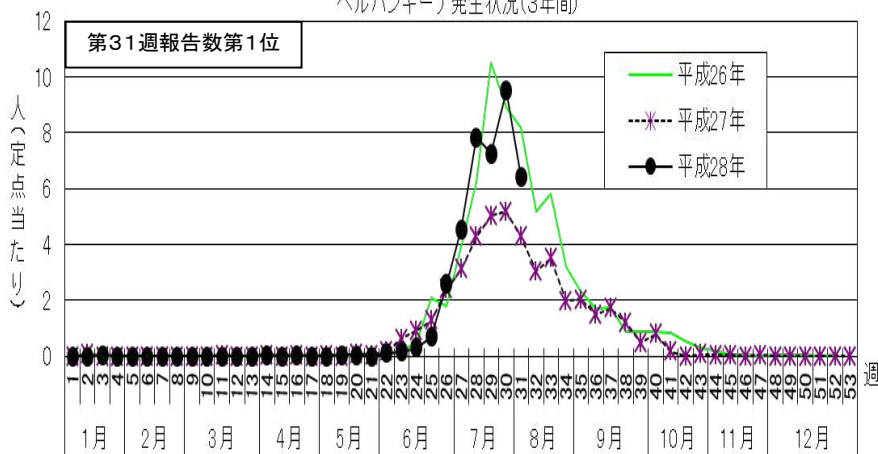
KAWASAKI CITY

平成28年8月1日（月）～平成28年8月7日（日）〔平成28年第31週〕の感染症発生状況

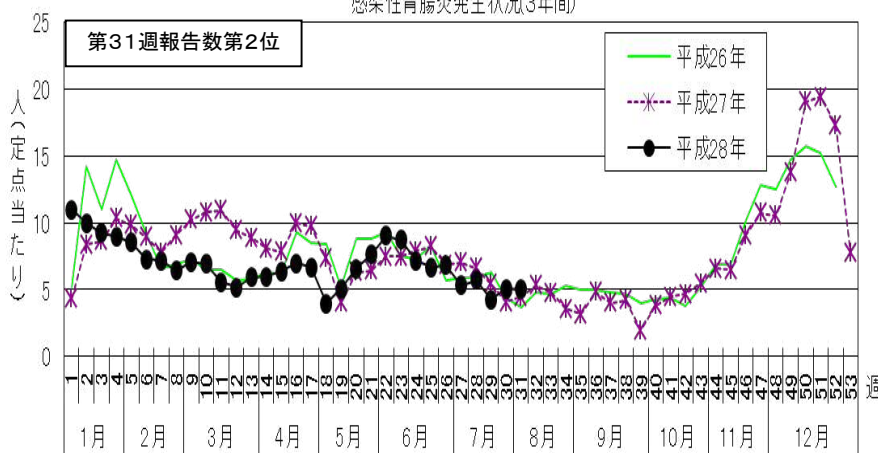
第31週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)ヘルパンギーナ 2)感染性胃腸炎 3)流行性角結膜炎でした。
 ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は6.42人と前週（9.50人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は5.03人と前週（5.06人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は2.11人と前週（1.89人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



ヘルパンギーナ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)

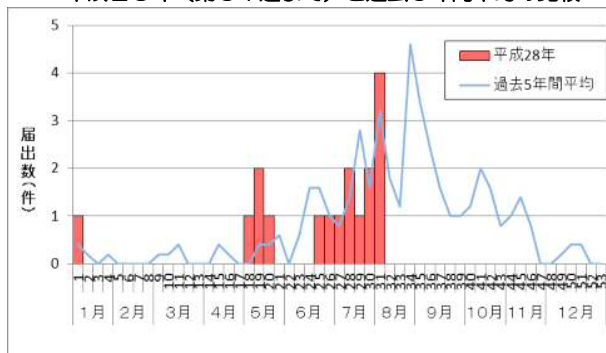


～食中毒警報が発令されました！！～

神奈川県で食中毒発生の可能性が高まったことから、平成28年8月3日に食中毒警報を発令しました。今年は昨年より11日遅い発令日となりました。

また、川崎市内においても、第31週（平成28年8月1日～8月7日）に腸管出血性大腸菌感染症（O157等）の届出が4件あり、患者数が増加しています。

川崎市における腸管出血性大腸菌感染症発生状況
 -平成28年（第31週まで）と過去5年間平均の比較-



食中毒予防の3原則



つけない

十分な手洗い！
器具を清潔に！



増やさない

適切な保存！
冷蔵や冷凍！



やっつける

十分な加熱！
器具の消毒！